

令和4年度

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート 報告者: 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 代表 石田 秀俊 報告年月日: 2023/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R4					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	地域の景観資源を守ろう、活かそう	歴史的な景観資源を発掘し継承する	—	—	—	—	—	花壇整備などを通して、地域の景観づくりと地域間の連携基盤づくりを継続的に進めている。また、シーニックカフェの充実を図ることによりルート内の景観や情報等を発信する場が増えている。広域連携として実施している「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」は、植樹と合わせて維持管理を行うなど美しく新しい景観を創出するための活動を継続的に取り組んでいる。昨年から実施している「秀逸な道」の環境整備や情報発信の継続により、観光客への快適さを提供し、地域の資源として活用できる環境を整えている。
		十勝の山麓・平野に広がる美しい田園景観を活かす	シーニックカフェ	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	令和4年4月～令和5年3月(カフェにより期間異なる)	主催者: 20名程度 カフェ: 12箇所	—	
	特色溢れる景観を創出しよう	景観の見せ場を創る	—	—	—	—	—	
		沿道を花と緑で彩る	北海道ガーデン街道との連携事業: 人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	令和4年4月～令和5年3月	主催者: 60名程度	—	
			花壇植栽	十勝平野・山麓ルート(地域部会)	令和4年6月～令和4年10月	60名程度	A — 2	
			「秀逸な道」環境整備事業	十勝平野・山麓ルート	令和3年8月30日	30名程度	A — 3	
	沿道景観を取り巻く環境向上に向けた取り組み	道路工作物の景観を整える	—	—	—	—	—	
		手入れの行き届いた沿道景観をつくる	—	—	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート 報告者: 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 代表 石田 秀俊 報告年月日: 2023/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R4					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
地域	地域が一体となった情報発信の検討	広域的な地域情報発信の連携	シーニックカフェスタンプラリー	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	令和4年7月30日～10月16日	応募97人(カフェ12箇所)	A - 1	ルート内の周遊とカフェと連携した情報発信を行うため、ルート独自のシーニックカフェスタンプラリーを継続して開催した。シーニックカフェは登録店舗数も減ることなく継続できている。また、シーニックカフェ、100年の木プロジェクト、看板再生事業等ルートの活動や、地域情報を掲載したルートマップを配布することにより、地域活性に繋がる情報発信を行った。秀逸な道に続く観光地にある除雪STを情報発信拠点として整備し、今年度もシーニックバイウェイ、ルート、地域のポスター、マップ、パンフレットを設置した。今後も情報発信を継続的に行うことが重要と考える。
			幌加除雪ステーション情報発信	十勝平野・山麓ルート(地域づくり分科会)	令和4年5月～令和5年3月	主催10人程度	A - 4	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
	地域のシーニック運営への意識を高めよう	持続的なルート運営の為の運営体制の検討 地域にシーニックを浸透させよう	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
	観光	地域の農・食・産品を繋げて活かそう	地場産品・食をPRする	—	—	—	—	
農業を活かす			—	—	—	—	—	
個店を活かす仕組みづくり			—	—	—	—	—	
提案型観光地づくりの検討		野外活動型滞在観光地づくり	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
健康保養型滞在観光地づくり		健康保養型滞在観光地づくり	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
地域資源の発見と共有に取り組もう	地域資源の発見と共有	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリー台紙及びスタンプを設置。参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプ押印で応募が可能。押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】令和4年7月30日（土）～10月16日（日）
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ12カ所
- 【応募人数】97名（十勝管内：65名、十勝管外：19名、北海道外13名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）

The front page of the brochure includes a map of the Ten勝 scenic route with 12 numbered locations. Below the map is a 3x4 grid of numbered circles (1-12) for stamp collection. To the right is a poster for the 'Stamp Rally' from July 30 to October 16, 2022, featuring a yellow car and the text 'スタンプラリーを巡って特典ゲット! 各一人様一回限り! ※特典内容は裏面までご覧ください! ※抽選で宿泊券も当たる!'.

（裏）

The back page lists 12 scenic cafes, each with a small photo and key information:

- 1 YORKSHIRE FARM (農場) 10月10日～16日(土)～16日(日) 10:00～16:00
- 2 カネダデザイン サルビア (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 3 美庭亭 (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 4 十勝千年の裡 (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 5 展望レストランとかち亭 (レストラン) 10月10日～16日(土)～16日(日) 10:00～16:00
- 6 カントリーババ (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 7 土曜高層ヌブカの里 (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 8 ナイフ原産地ナイフイラス (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 9 三国cfe (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 10 レストランあしよる (レストラン) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 11 ソフトクリーム工房 (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00
- 12 K'sキッチン (カフェ) 11月05日～16日(日) 10:00～16:00

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：環境美化活動「花壇植栽」

- 【概要】訪れた人にルート内の美しい景観を楽しんでいただくため、おもてなしの気持ちと再訪を促す目的で実施している。
- 【実施内容】道の駅「あしよろ銀河ホール21」（足寄町）、豊岡見晴し台駐車公園（上士幌町）、「ひまわりの道」（陸別町）の花植え
- 【開催期間】令和4年6月～10月
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加人数】約60名



豊岡見晴し台駐車公園(上士幌町)



道の駅「あしよろ銀河ホール21」周辺
(足寄町)



「ひまわりの道」(陸別町)

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：「秀逸な道」環境整備事業

【概要】 「秀逸な道」と情報発信拠点の除草・清掃を行うことで、景観の魅力向上と観光客への快適さを提供し、地域の資源として活用できる環境を整えている。

【実施内容】 幌加除雪ステーション・水芭蕉駐車場の除草・清掃

【実施日】 令和4年8月30日（火）

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

【参加人数】 32名



幌加除雪ステーション①



水芭蕉園駐車場①



水芭蕉園駐車場②

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：幌加除雪ステーション情報発信

【概要】旧土幌線鉄道遺構が点在する観光地にある除雪ステーションを情報発信拠点として整備し、シーニックバイウェイ、ルート、自治体などのポスター、マップ、パンフレットなど設置。観光客へシーニックバイウェイのPRと情報発信を行い、周遊とドライブ観光を促進している。

【実施内容】幌加除雪ステーションでの情報発信

【実施期間】令和4年5月～令和4年11月（冬季間は閉鎖）

【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

【設置物】自治体・「秀逸な道」ポスター、ルートマップ、自治体パンフレットなど



入口へ展示案内を掲示



自治体ポスターとパンフレット



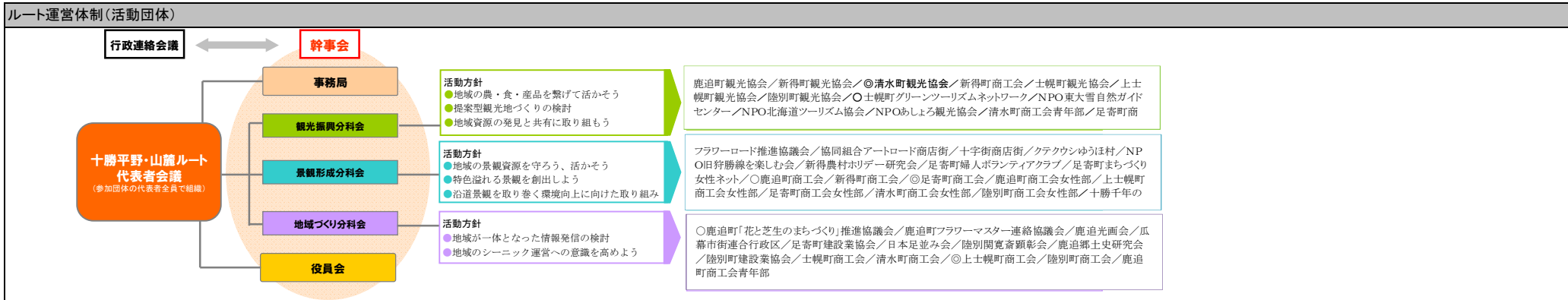
秀逸な道ポスターと山麓ルートマップなど

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート	報告者:十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 代表 石田 秀俊	報告年月日:2023/3/31
------------------------------	--------------------------------------	-----------------

活動団体

新得町観光協会、新得町商工会、新得農村ホリデー研究会、NPO法人旧狩勝線を楽しむ会、清水町観光協会、清水町商工会、清水町商工会女性部、清水町商工会青年部、十勝千年の森、鹿追町観光協会、鹿追町商工会、鹿追町商工会青年部、鹿追町商工会女性部、鹿追町花と芝生の町づくり推進協議会、フラワーマスター連絡協議会、フラワーロード推進協議会、協同組合アートロード商店街、十字街商店会、瓜幕市街連合行政区、クテクウシゆうほ村、鹿追光画会、NPO法人北海道ツーリズム協会、鹿追郷土史研究会、士幌町商工会、士幌町観光協会、士幌町グリーンツーリズムネットワーク、上士幌町観光協会、上士幌町商工会、上士幌町商工会女性部、上士幌町商工会青年部、NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター、足寄町商工会、足寄町商工会女性部、足寄町商工会青年部、NPO法人あしよ観光協会、足寄建設業協会、日本足並み会、足寄町まちづくり女性ネット、足寄町婦人ボランティアクラブ、陸別町商工会、陸別町商工会青年部、陸別町商工会女性部、陸別町観光協会、陸別町建設業協会、陸別町観光協会



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議		●5/19 代表者会議											
役員会・分科会				●7/14 地域づくり部会 景観形成部会									
十勝SBW連絡会議				●7/28								●3/3	
その他連携会議(人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト、サイクルツーリズムルート協議会)		●5/10 100プロ総会		●7/1 静岡連携 フォーラム				●11/1 100プロ全体会 議	●12/6 道路協力団体 意見交換会		●2/17 三国峠交通安 全対策協議会		
シーニックバイウェイ北海道			●6/1 制度評価委員 会道東ブロック 意見交換会			●9/2 全道ルート代 表者会議		●11/28 道東ブロック会 議					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート	報告者:帯広開発建設部	報告年月日:2023/3/31
------------------------------	-------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和2年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	令和3年4月～令和4年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。		
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	令和3年4月～令和4年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイと秀逸な道の紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PAにPRポスターの展示やデジタルサイネージの活用など、十勝SBWの周知を行った。今年度から、来客と周遊を目的に各自治体、主要観光施設等での秀逸な道ポスターの掲示や各自治体及び秀逸な道の景観ポストカード設置を行った。今後も行政とルートが連携し、コロナ禍でも行えるPR活動とコロナ収束に向けた準備を行っていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	